アオバズク

**『宮村小学校　学校通信』　　ＮＯ．８**【文責：校長】**２．１０．２３**



**子育てについて**

ある大型ショッピングセンターに行ったときのことです。レジで並んでいたところ、いきなり、「だからダメだって！」と耳元で大きな声で言われ、びっくりしてしまいました。妻以外の人に、そんなことを言われるなんて・・・と思いましたが、その人の子どもさんに言ったみたいでした。しかし、よっぽど、イライラしていたのか、私はとびはねるぐらいびっくりしてしまいました。そのことにも気づいていないのか、気にしていないのか、その親子は、その場からいなくなりました。

子育てって大変ですよね。余裕、ゆとりはありませんが、せめて、周りの方に気を遣う（TPO）などのことは、考えていただかないと、注意された子どもも、そういうことに、うとい大人に育ってしまうのではないかと心配してしまう出来事でした。

**「話をしっかり聞ける子」の親がしている４大習慣**

「聞く」ことは、人の話に集中し、よく理解するための重要なスキルです。子どもは「聞く力」を身に付けることで、以下のようなさまざまな力を育むことができます。

・学力：「聞く→わかる→楽しい→もっと知りたい→聞く」という学びの好循環が生まれます。

・表現力や語彙力：音声や敏感に聞き取る力は子どもの頃の方が優れており、成長とともに失われていきます。子どものころから聞く力があれば、耳から新しい表現や言葉をキャッチして、どんどん習得していくことができます。

・集中力：落ち着いて相手の話を聞くことで口をはさんだり、無視したりせずにしっかりと耳を傾けることで、我慢強さも身につきます。

・共感力：子どもは自分の気持ちをわかってもらいたい想いが強く、相手を理解することは、まだ得意ではありませんが、話を聞く習慣をつけることで、相手の気持ちを理解できるようになっていきます。子どもの「聞く力」を伸ばす方法を紹介します。

【その１】親が子どもの顔を見て話を聞く

　子どもが話しかけてきたときは、背中を向けたまま聞くようなことはせず、向き合って、子どもの顔を見ながら話を聞きます。「子どもが育つ魔法の言葉」の著書ドロシー・ノルト博士は、「子どもは親を手本にして育つ。毎日の生活での親の姿こそが、子どもに最も影響力をもつ」といってます。子どもは大人が自分の話を聞いてくれる姿を見て、人の話を聞くとはどういうことが学びます。

【その２】「読み聞かせ」をする

　楽しい本の時間は、子どもが「聞く力」を伸ばすチャンスです。絵が多く文が短い絵本から始め、成長していくにつれて、絵が少なく文字の多い、長めの話を選ぶようにします。

【その３】「伝言ゲームをする」

　「いまから言う言葉をパパに伝えてね」と伝言をゲーム感覚でお願いすると、子どもは夢中になります。正しく伝えられたら「すごいね！」と忘れずに声をかけます。

【その４】「心の道具」を使う

　児童の学習心理学が専門の心理学者。エレナ・レオンは、家庭で「聞く力」が

育たなかった子ども達向けに「心の道具（ツールズ・オブ・ザ・マインド）」と

いうプログラムを開発しました。このプログラムでは、子どもは「視覚」を通じて

行動をうながされます。たとえば、絵本を読むときは、「読む番」の子どもは目の前に「口の絵」を置き、自分が読み手であることをまわりに伝えます。その他の子ども達は「耳の絵」

を持って、自分は話し手ではなく聞き手であることを自覚するといった方法です。このツールは、学校や保育園など集団の場で「聞く力」を育てる際、子ども達になじみやすく、聞く力だけでなく、自制心や学力の向上にもつながっています。家でも親子で読み聞かせをしたり、対話をしたりするときに応用することができます。

１１月の主な行事予定

１１月　２日（月）教育実習開始　2名 　　　　　１１月１７日（火）避難訓練

　　　　４日（水）クラブ活動　　　　　　　　　　　　１８日（水）・１９日（木）修学旅行（6年）

６日（金）読み聞かせ　　　　　　　　　　　　２０日（金）秋の遠足（１・２年、３・４年）

１０日（火）長距離走開始　　　　　　　　　　　２５日（水）弁当の日

１２日（木）・１３日（金）宿泊学習（5年）　　　３０日（月）委員会活動

* 火・金曜日はALT来校
* クラブなしの水曜日は集団下校とな

ります。

　運動会

　随分と前だったような気もしますが、運動会では、役員の方々を中心に、前日の準備から片付け、また、ご家庭での子どもさんへの励ましの言葉かけ等ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、いつもの運動会よりは規模を縮小しての実施となりましたが、子ども達も一生懸命にがんばってくれ、心に残る感動する運動会になったのではないかと思います。

　子ども達も運動会という大きな行事を経験し、心も体も大きく成長できたと思います。



「心を一つにみんなが団結し、ダブル優勝をめざそう！」というスローガンでがんばりました。



　1年生から4年生までは「ソーラン節」をがんばりました。学校によっては、6年生とかがやったりしますが、みんなとてもよくがんばり、感動しました。

　平成１０年から本校の運動会で披露されている「大太鼓踊り」５・６年生は、宮村に伝わる伝統をしっかりと引継ぎ、今年も保存会の方々と披露してくれ、こちらも感動させてもらいました。

